

神戸大学 MBA(専門職大学院) 2026 年度前期
現代経営学応用研究(アントレプレナー・ファイナンス)

担当教員： 蔭山 広明
連絡先 hirokageyama@people.kobe-u.ac.jp
開講日： 2026 年 4 月 4 日～ 2026 年 4 月 25 日の毎週土曜日
開講時間： 1 限・2 限 (8 時 50 分～12 時 10 分)

【授業のテーマ】

イノベーションを通じた価値創造を実践するアントレプレナーにとって必要とされるファイナンスに関する基礎理論を学習する。

【授業の目標】

イノベーション創出や価値創造に必要なアントレプレナー・ファイナンスの理論を学習し、ベンチャー企業にとって不可欠な財務戦略や事業戦略の設計を行うための基礎力を習得する。

具体的には、ベンチャー企業の資金調達に必要な事業計画作成手法、コーポレート・ファイナンス理論の基本、企業価値評価(バリュエーション)手法等について、実践演習を通じて習熟することを目的とする。また、ベンチャー企業の成長ステージと資金調達手法、事業提案書(ピッチブック)の作成のポイント、シリコンバレーを題材にイノベーションエコシステム形成の背景や要諦とベンチャーキャピタル業界の発展の系譜などについても概観する。

【授業の内容】

本講義は対面で実施する(但し、感染症対策などの事情により、オンラインによる講義を行う可能性がある。)

2 コマ 4 回(合計 8 コマ)の講義で構成し、各回のテーマは以下の通り。

なお、スプレッドシートを活用した実践演習を織り交ぜながら講義を進めるので、スプレッドシートの作業ができるよう、毎回講義にパソコン(タブレット端末不可。)を持参のこと。

1週目： 2026年4月4日（土曜日）

- ① （1限）財務計画の作成 ～ 財務計画作成に当たっての基本を学ぶ。まずは、財務計画作成の基礎となる企業会計に関する基本を大まかにおさらいし、その後ベンチャー企業や新規事業の立ち上げ時における、財務計画作成に当たっての要点を学習する。

【提出課題】 なお、講義後に、財務計画のスプレッドシートを作成する演習を提出課題として課す予定（詳細は講義において説明する）。

- ② （2限）コーポレート・ファイナンスとバリュエーション概論 ～ アントレプレナーが成長資金を調達し、企業価値向上のために採りうる施策を思考するために不可欠である、自らの企業や株式の価値を客観的に評価する基本的な理論と手法を学ぶ。
- ・ コーポレート・ファイナンス理論（ポートフォリオ理論、リスク・リターンの考え方など）
 - ・ 代表的な企業価値評価手法（DCF法、マルチプル法など）

【筆記試験】 なお、1週目2限講義の最後に、出席確認を兼ねて、当日の講義の理解度を確認する演習課題（筆記課題）を実施する予定であり、筆記用具（鉛筆・シャープペンシル、消しゴムなど）を持参のこと。

2週目： 2026年4月11日（土曜日）

- ③ （1限）コーポレート・ファイナンスとバリュエーション実践（演習）
- ・ 前回講義の提出課題や筆記課題のフィードバックを行う。
 - ・ その後、企業価値評価の実践演習として、財務計画や企業価値評価を行うためのスプレッドシートを実際に作成する。

【提出課題】 なお、講義後に、企業価値評価のスプレッドシートを作成する演習を提出課題として課す予定（詳細は講義において説明する）。

- ④ （2限）アントレプレナー・ファイナンス概論 ～ 「どんなリスクマネーを、誰から、どうやって調達するか？」 ～ アントレプレナーにとって成長のために必要な資金調達に関する基本的な考え方を学ぶ。
- ・ ベンチャー企業の成長ステージと資金調達手法
 - ・ 資金提供者の類型や特徴
 - ・ 事業提案書「ピッチブック」とはどのようなものであるか？

3週目： 2026年4月18日（土曜日）

【中間試験】3週目講義の1限冒頭に、これまで学習した講義の理解度を確認する演習課題（筆記課題）を実施する予定であり、筆記用具（鉛筆・シャープペンシル、消しゴムなど）を持参のこと。

- ⑤ （1限）以下の事項をカバーする。
 - ・ 前回講義の提出課題のフィードバック。
 - ・ これまでの講義でカバーが不十分であった項目の補足説明や復習。
- ⑥ （2限）引き続き、以下の事項をカバーする。
 - ・ これまでの講義でカバーが不十分であった項目の補足説明や復習。

4週目： 2026年4月25日（土曜日）

- ⑦ （1限）シリコンバレーの発展とイノベーションエコシステム形成 ～ 卓越したベンチャー企業を輩出するイノベーションエコシステムが形成される背景について学ぶ。
 - ・ 世界を代表するイノベーションエコシステムであるシリコンバレーは、どの様に発展したか？それはどの様な要因で起きたか？
 - ・ VC（ベンチャーキャピタル）業界はどの様に発展したか？
- ⑧ （2限）おさらいと期末試験
 - ・ おさらいとオフィスアワー
 - ・ 期末試験

【期末試験】4週目講義の最後に、これまで学習した講義の理解度を確認する演習課題（筆記課題）を実施する予定であり、筆記用具（鉛筆・シャープペンシル、消しゴムなど）を持参のこと。

【教員】 蔭山広明

担当教員は、国内メガバンク、外資系投資銀行において、コーポレート・ファイナンス、M&A 関連業務等に従事した後、グローバル消費財ブランドの事業会社及び同社の CVC (コーポレート・ベンチャーキャピタル) において多くの新規事業開発案件に従事した職務経験を有す。さらに、本学においては、大学院科学技術イノベーション研究科において、アントレプレナーシップ講座主任として、理系の博士課程の学生 (社会人学生も含まれる。) を対象に、科学技術上のブレークスルーを基にしたイノベーションの社会実装について、実務・理論両面から複眼的な指導を実践している。これらの経験と専門知識を活かし、事業創造に関わるうえで必須となる知見について、実践的な学びができる授業を実施する。

【成績の評価方法】

講義への参加・貢献度 (20%) と演習・レポート (80%) で評価する。

- ・ 講義への参加よりも、講義への貢献を重視する。クラスに貢献する発言や質問を歓迎する。

【講義資料】

- ・ 予習用の講義資料等を事前に BEEF+ にアップロードする (書面配布はしない)。

【事前・事後学修】

- ・ 各回の講義に先立ち、BEEF+ に公開する講義資料等を事前に熟読し予習すること。
- ・ 講義後には講義内容の理解を深めるために講義資料等を復習すること。
- ・ 講義で課された課題・演習・レポートに関しては、講義資料等を復習し、自身で考え、自身で作成して提出すること。
- ・ 講義内容の理解を確認するため、適宜レポート課題や演習などを与えることがある。
- ・ 本学では 1 単位あたりの学修時間を 45 時間としている。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行うこと。

【オフィスアワー】

- ・ オフィスアワー： 本講義の前後に設定する。相談を希望する学生は、事前に BEEF+ のメッセージ機能または hirokeyama@people.kobe-u.ac.jp にて連絡のこと。

以上